

2020年1月9日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 線路設備モニタリングの 「第8回ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞 受賞について

- 第8回ものづくり日本大賞において、東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)の線路設備モニタリングが「内閣総理大臣賞」を受賞しました。なお、本件は、JR東日本グループの株式会社日本線路技術(代表取締役社長：堀山功)と共同の受賞であり、鉄道事業者として初めての受賞となります。
- JR東日本では、メンテナンス業務の革新に挑戦し、さらなる安全・安定輸送の実現に加え、生産性が高い仕事の仕組みづくりやICT等を活用した技術革新に取り組んでまいります。

### 1. 受賞件名

製造・技術開発部門 内閣総理大臣賞  
「保線におけるモニタリング技術の実用化と維持管理への応用」

### 2. 受賞概要

営業列車に線路設備モニタリング装置を搭載することにより、線路のゆがみ(軌道変位)や線路を構成する材料の状態(軌道材料)を高頻度に把握することが可能になりました。また、データ処理手法や不良箇所の自動判定技術を開発しシステム構築を行うことで、軌道変位の予測分析など、高頻度データを活用した効率的で質の高い線路メンテナンスを実現しました。

今回の受賞では、これら国内初の取組みが評価されました。

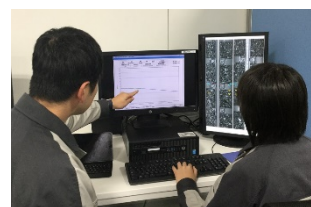
なお、現在、線路設備モニタリング装置は、首都圏をはじめとした31線区に導入されています。

### 3. 表彰式

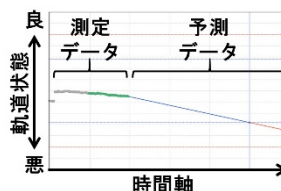
表彰式は2020年1月8日(水)に内閣総理大臣官邸にて行われ、安倍首相から表彰状が授与されました。



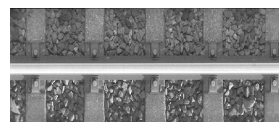
線路設備モニタリング装置



取得データの確認・分析の様子



軌道変位の予測分析



軌道材料の画像データ

確認・分析するデータのイメージ



表彰式

### ※ものづくり日本大賞とは

「ものづくり日本大賞」は、日本の産業・文化を支えてきたものづくりを継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に伝えることを目的とする顕彰制度です。平成17年の制度創設後、隔年で開催しており、今回で第8回を迎えます。